

パブロフの犬

—条件反射の心理学?—



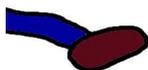
東郷 潤



パブロフ博士

さあ、みなさん。

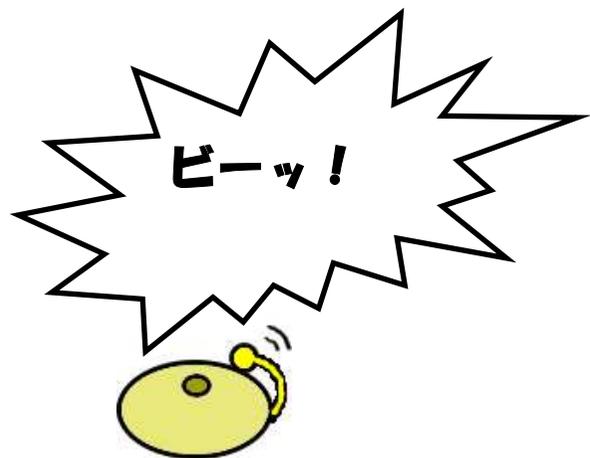
今日は、条件反射のお勉強を
しましょうね！



さあ、みなさん。

今日は、条件反射のお勉強を
しましょうね！

ベルを鳴らして



えさを与えます。

悪いと決めて

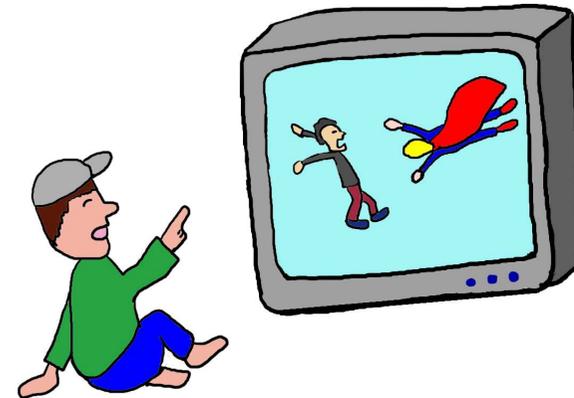


攻撃します。¹

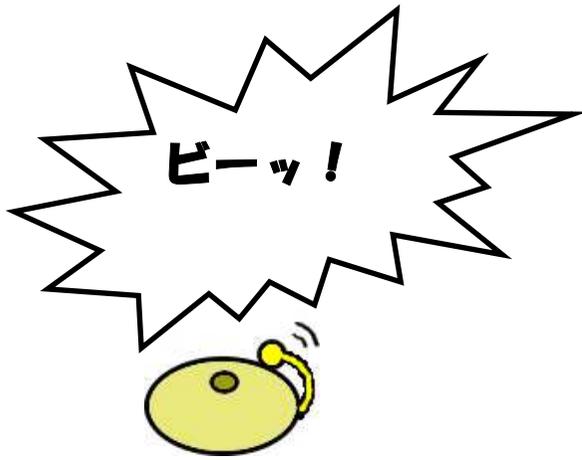
¹ [注] お尻を叩く行為を「攻撃」と表現していますが、罰（体罰）の善悪を主張する意図は一切ありません。



えさを与えます。



攻撃します。

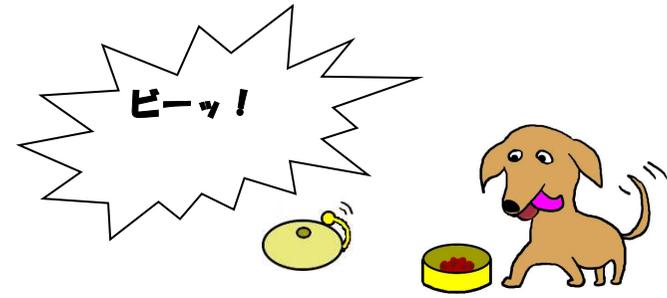
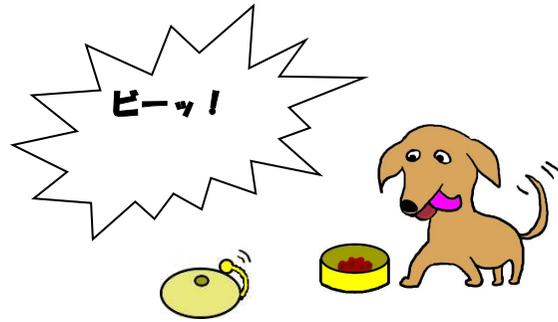
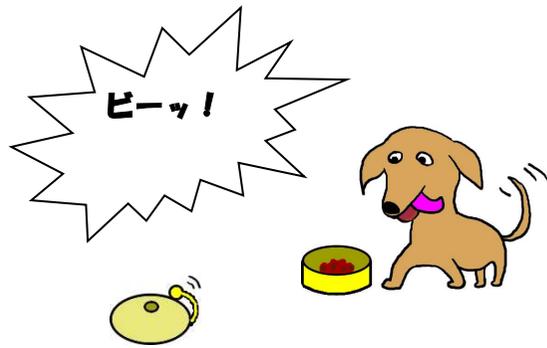


えさを与えます。



攻撃します。

これを、何十回も繰り返します。そうすると・・・



これを、何十回、…ではなく、子供の時から何十年も、繰り返します。そうすると・・・



これだけで…



これだけで…



・・・犬の口に唾が出ます。



ご馳走を食べなきゃ！

・・・地球人の目が釣り上ります。



攻撃しなきゃ！



これが条件反射です。
この習性を利用して、犬の行動を
コントロールできます。



これが条件反射です。
この習性を利用して、地球人の
行動をコントロールできます。

あとがき

善悪という言葉／考え方は、様々な条件付けを通して、多くの人々の心を深く規定し支配しています。そしてその支配は、様々な悲劇を生んできました。

本絵本は、そうした悲劇を地球上から無くすことを目的に、善悪を巡る心の支配の一つをテーマとして、執筆したものです。もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、商業出版を除いて自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2006